



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8018 URL http://www.sankyoseiko.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 井ノ上 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 下川 浩一 (TEL) (06)6268-5188
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,624	△30.3	1,754	17.3	2,428	22.4	913	△74.8
2020年3月期第3四半期	18,105	△10.5	1,495	△19.0	1,984	△16.6	3,629	100.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,002百万円(△54.4%) 2020年3月期第3四半期 4,390百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	20.90	—
2020年3月期第3四半期	82.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	48,298	35,958	73.7
2020年3月期	48,010	34,839	71.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 35,577百万円 2020年3月期 34,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,000	△27.2	1,300	1,254.2	1,900	241.7	650	△78.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	60,000,000株	2020年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	16,294,818株	2020年3月期	16,294,798株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	43,705,198株	2020年3月期3Q	43,816,682株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が大きく減速し、景気は急速に悪化いたしました。また、政府が打ち出した各種政策の効果などもあって景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、新規感染者数の再拡大により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、商業施設の一部休業や営業時間の短縮、外出自粛による消費低迷や購買志向の変化により、極めて厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは、「DAKS」ブランドを核としたビジネスを、アジアを中心に海外展開を拡大することに注力し、また、今後の先行き不透明な状況に対応するために、強固な財務基盤や安定した収益体質の構築を目指す事業構造改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比30.3%減の12,624百万円となりましたが、前期末より推し進めております事業構造改革の効果もあり、営業利益は前年同期比17.3%増の1,754百万円、経常利益は前年同期比22.4%増の2,428百万円となりました。特別利益として投資有価証券売却益など976百万円計上し、特別損失として使用権資産等の減損損失や早期退職による特別退職金など2,170百万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比74.8%減の913百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」のブランド価値向上のため、顧客ファースト、商品クオリティを追求し、経営効率を重視する販売戦略を推し進めております。当第3四半期連結累計期間におきましては、当該ブランドを百貨店などに販売する国内子会社では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う二度にわたる緊急事態宣言下の店舗休業や外出自粛などによる個人消費の落ち込みにより、大幅な減収となりました。

一方、「DAKS」「LEONARD」ブランドを中国・香港・マカオ・台北・韓国などのアジアを中心に展開しております海外事業は、当該感染症の影響は限定的でしたが、地政学的リスクなどの要因により前期末に香港の店舗を一部撤退したこともあり、大幅な減収となりました。

利益面におきましては、前期末より当該感染症の拡大に伴う消費低迷に対応するため、利益重視の収益体質の構築を目指し、店舗ごとの収益性を見直し、人件費など付随する経費を削減できた効果が大きく、増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比36.4%減の5,707百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比43.1%増の1,384百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業は、依然として厳しい市況が続く受注競争が加速する中、販売面におきましては企画提案力の強化、付加価値の高い商品開発に注力し、また、生産面におきましては、更なる品質向上を目指し、商品の安定供給に努めることで、重点得意先との取組拡大を目指しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、取引先であるアパレル各社の仕入計画の見直しによる受注減などにより減収となりましたが、物流の効率化、経費の削減などの収益性の向上に努め、また、回収不安が見込まれた債権額の減少に伴い、引当金を一部取り崩したことにより、減収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比25.8%減の5,902百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比19.4%増の277百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産賃貸事業は、稼働率は安定的に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントホール事業において、一定期間の営業自粛を行ったことが大きく影響し、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比20.6%減の1,478百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比17.3%減の449百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,370百万円(6.8%)増加し、21,455百万円となりました。これは、現金及び預金が1,690百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が370百万円減少したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,082百万円(3.9%)減少し、26,842百万円となりました。これは、使用権資産が1,842百万円減少した一方で、投資有価証券が902百万円増加したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて879百万円(11.2%)減少し、6,946百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が559百万円減少、未払金が357百万円減少したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて48百万円(0.9%)増加し、5,393百万円となりました。これは、繰延税金負債が487百万円増加した一方で、リース債務が264百万円減少、退職給付に係る負債が155百万円減少したことなどによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,119百万円(3.2%)増加し、35,958百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が909百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年11月4日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,395	16,085
受取手形及び売掛金	3,606	3,236
商品及び製品	2,019	2,019
仕掛品	2	—
原材料及び貯蔵品	5	4
未収還付法人税等	36	76
その他	204	139
貸倒引当金	△184	△107
流動資産合計	20,085	21,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,541	7,211
土地	3,065	2,950
使用権資産(純額)	1,946	104
その他(純額)	150	113
有形固定資産合計	12,703	10,379
無形固定資産		
商標権	3,869	4,057
その他	135	85
無形固定資産合計	4,004	4,143
投資その他の資産		
投資有価証券	10,654	11,556
退職給付に係る資産	8	8
その他	573	791
貸倒引当金	△19	△36
投資その他の資産合計	11,217	12,319
固定資産合計	27,924	26,842
資産合計	48,010	48,298

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,376	1,817
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	521	535
未払金	673	316
未払費用	881	848
未払法人税等	163	163
その他	388	446
流動負債合計	7,825	6,946
固定負債		
リース債務	1,578	1,313
繰延税金負債	2,284	2,771
退職給付に係る負債	505	349
長期預り金	840	830
その他	134	127
固定負債合計	5,344	5,393
負債合計	13,170	12,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,178
利益剰余金	29,354	29,393
自己株式	△5,984	△5,984
株主資本合計	32,538	32,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,460	5,370
繰延ヘッジ損益	7	△10
為替換算調整勘定	△2,553	△2,369
退職給付に係る調整累計額	△5	△1
その他の包括利益累計額合計	1,908	2,989
非支配株主持分	392	381
純資産合計	34,839	35,958
負債純資産合計	48,010	48,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	18,105	12,624
売上原価	10,770	7,057
売上総利益	7,335	5,566
販売費及び一般管理費	5,839	3,811
営業利益	1,495	1,754
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	522	510
為替差益	25	—
その他	25	239
営業外収益合計	583	750
営業外費用		
支払利息	52	43
店舗等除却損	14	16
為替差損	—	5
その他	28	11
営業外費用合計	95	76
経常利益	1,984	2,428
特別利益		
投資有価証券売却益	—	633
助成金収入	—	246
固定資産売却益	3,172	96
特別利益合計	3,172	976
特別損失		
減損損失	—	※1 1,729
臨時休業等による損失	—	※2 202
特別退職金	25	172
投資有価証券評価損	—	37
投資有価証券売却損	—	28
特別損失合計	25	2,170
税金等調整前四半期純利益	5,131	1,234
法人税、住民税及び事業税	1,476	498
法人税等調整額	9	△185
法人税等合計	1,486	313
四半期純利益	3,645	921
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,629	913

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,645	921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	793	909
繰延ヘッジ損益	4	△17
為替換算調整勘定	△54	184
退職給付に係る調整額	1	4
その他の包括利益合計	745	1,080
四半期包括利益	4,390	2,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,374	1,993
非支配株主に係る四半期包括利益	15	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社サンファーストは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
販売店舗及び事務所	建物及び構築物	横浜市西区他	2
	工具、器具及び備品	熊本県熊本市他	2
	長期前払費用	熊本県熊本市他	2
	使用権資産	ロンドン	1,722
計			1,729

当社グループは、事業別を基本とし、賃貸用資産及び遊休資産等については、それぞれの物件ごとにグルーピングを行っております。

上記資産グループにおきましては、閉鎖が決定または将来の使用見込みがないと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は販売店舗及び事務所においては、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値が零またはマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

※2 臨時休業等による損失

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言に伴う店舗等の休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費等)を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,961	7,474	1,669	18,105	—	18,105
セグメント間の内部売 上高又は振替高	12	475	191	680	△680	—
計	8,974	7,949	1,861	18,786	△680	18,105
セグメント利益	967	232	543	1,743	△247	1,495

(注) 1. セグメント利益の調整額△247百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338百万円及びセグメント間取引消去等90百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,704	5,567	1,352	12,624	—	12,624
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	335	126	464	△464	—
計	5,707	5,902	1,478	13,088	△464	12,624
セグメント利益	1,384	277	449	2,110	△356	1,754

(注) 1. セグメント利益の調整額△356百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△413百万円及びセグメント間取引消去等56百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	1,729	—	—	—	1,729